

このマニュアルの使い方

我が国の大学等において遺伝子組換え実験に従事する外国人留学生や外国人研究者の多くは、英語を共通語として勉学や研究にたずさわっています。このため、関連する法令、即ち「カルタヘナ法」についての重要事項も英語で伝えられることが望ましいことはいうまでもありません。

このマニュアルは、「カルタヘナ法」に関する英語による安全教育を行おうとしている大学等のスタッフが、英語の講習会テキストや配布資料を準備しようとする際の手助けとなることを目的に作成されています。その内容は、数年前より英語による安全教育を行ってきた、神戸大学（K）、理化学研究所（R）、徳島大学（TK）、東京大学（UT）の各資料を基に、各関係者の許諾を得て再編集したものです。

このマニュアルには、基本的にそのまま使える PowerPoint スライドが CD-ROM 内に収納されていますので、必要なスライドを選んで並べるだけでテキストを作ることができます。必要なスライドを選ぶには、見開きの「CONTENTS」に整理された項目と、K1～27、R1～21、TK1～14、または UT1～4 の内容を印刷版で確認し、適切なスライドを CD-ROM から各自のコンピュータの PowerPoint ファイルに移していきます。Keynote を使用する場合には、CD-ROM 内の PDF ファイルから画像を選んで移す必要があります。個々の機関名や講習日・場所等を表示するのに必要なタイトル・スライドと追加情報を載せるための空のテンプレートは、PowerPoint と Keynote の両方が用意されています。

K1～27 及び R1～21 のスライド資料には解説用の「口述原稿」がついています。口述内容を印刷版で参照・確認し、必要な場合は Word 形式で CD-ROM に収納されていますので、適宜、コピー・ペーストで引用することによってスライドのノートを作成していただけます。

「ヒヤリ・ハット集」は、文部科学省が公開している「不適切な取扱いの事例集について」を英語マニュアル作成ワーキング・グループが許可を得て英訳したもので、改変は基本的に不可のため PDF ファイルで供給されています。講習会等で紹介する際には、事前に日本語のホームページ*をよくご覧になり、受講者に誤解等が生じないようにご注意ください。

*文部科学省 (http://www.lifescience.mext.go.jp/files/pdf/n960_05.pdf)

「修了試験問題」は、神戸大学で現在使用されているもので、神戸大学に特異的な問題も含まれていますが、当該個所を削除すれば一般的な問題になりますので参考にしてください。

最後の「用語集」には本マニュアルで使用した主な用語が解説されています。受講者の質問等に対応するのにご利用ください。

なお、本マニュアルで使用した用語は、下記ウェブサイトで使用されているものに準拠しています。

法務省 Japanese Law Translation (<http://www.japaneselawtranslation.go.jp/>)

環境省英語 HP (<http://www.env.go.jp/en/laws/>)

Japan Biosafety Clearing House (http://www.bch.biodic.go.jp/english/e_index.html)

さらに、CD-ROM 内には R1～21 の資料に対応する口述音声も収録されています。用語の発音等、解説時の参考としてご利用ください。

本マニュアル（付属の CD-ROM 及び遺伝子協ホームページで公開されるダウンロード版を含みます。）は、できるだけ使いやすいように作成しておりますが、著作権上の制約等により利用には以下のような制限があります。

- (1) 本マニュアルは、大学遺伝子協の会員が、外国人留学生や外国人研究者に対して、遺伝子組換え実験に関する英語による安全教育を行うために限り、必要な限度で利用（複製及び修正）することができます。
- (2) 上記（1）の目的以外の目的で、本マニュアルを利用（複製、転載、公衆送信、口述、譲渡、貸与、翻訳、及び翻案等を含みます。）することはできませんので、その取扱いにはご注意ください。
- (3) 本マニュアルは、大学遺伝子協の会員のために作成したものであり、本マニュアル及びその複製物を大学遺伝子協の会員以外に譲渡、貸与等することはできません。また、本マニュアルをウェブサイトアップロードすることもできません。
- (4) 本マニュアルに使用されているイラスト（以下、「本イラスト」といいます。）は、イラストレーターである都あきこ氏等が作成したものであり、本イラストに関する著作権及び著作者人格権は同氏等に帰属しております。

本イラストの使用に関しましても、大学遺伝子協の会員が、外国人留学生や外国人研究者に対して、遺伝子組換え実験に関する英語による安全教育を行うために限り、必要な限度で利用（複製及び修正）することができます。

本イラストを、それ以外の目的で、利用（複製、転載、公衆送信、口述、譲渡、貸与、翻訳、及び翻案等を含みます。）することはできませんので、その取扱いにはご注意ください。

- (5) 本マニュアルの使用方法については、変更されることがありますが、その点、あらかじめご了承ください。
- (6) 本マニュアルの作成にあたっては、細心の注意をはらっておりますが、本マニュアルはわかりやすさを重視したものであり、大学遺伝子協及び本マニュアル作成者等（資料の作成者／提供者を含む）は、本マニュアルの内容の正確性等一切を保証せず、本マニュアルの使用に起因して生じた損害や事故等に関して一切責任を負いません。
外国人留学生や外国人研究者への安全教育については、各機関・組織の責任で行ってください。

また、本マニュアルのダウンロード版は更新可能ですので、マニュアル中に誤植等修正すべき点を見つけれられた方は、大学遺伝子協へご連絡くださいますようお願い申し上げます。

平成 24 年 10 月 25 日

全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会企画委員会
英語マニュアル作成ワーキング・グループ
代表 深見 泰夫